

# 平成28年度事業計画

## I 事業の推進に当たって

新潟県から受託した発掘調査を実施し、埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財に親しむ機会の提供・普及啓発を図り、文化振興の寄与を目的に事業を推進する。

## II 主要実施事業

### 1 発掘調査 [資料1]

民間調査組織を活用し、以下の発掘調査を実施する。

**本発掘調査 12,375 m<sup>2</sup>**

国交省直轄国道関係 3 遺跡

### 2 発掘調査報告書作成 [資料2]

国交省直轄国道関係の5遺跡について、整理・報告作業を行う。

・整理編集・報告書刊行：4 遺跡

・整理編集：1 遺跡

### 3 保存処理 [資料3]

ア 木器保存処理

・平成26年度から採用したトレハロースを使用した保存処理を引き続き行う。

・保存処理による収縮・変形への対処・補正のため、処理前に実測・写真撮影等の記録作業を行う。

イ 金属器保存処理

さび落とし、脱塩・脱硫、樹脂含浸による保存処理を行う。

### 4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、他機関の報告書や専門図書を考古学・歴史学などの学習・研究資料として、研究者・県民が活用できる場を提供する。

#### (1) 保管

ア 出土品・記録資料の保管

イ 図書類の保管

#### (2) 記録類の整理

図面のマイクロフィルム化作業

#### (3) 資料の活用・貸出し・閲覧

ア 出土品、写真等の貸出し

イ 埋蔵文化財に関する調査・研究を進めるため、情報・資料・図書等の収集を行う。

#### (4) 再整理

平成26・27年度に旧興農館高校校舎へ一部の遺物を移動したことに伴う、管理台帳の整備。復元後の経年劣化が著しい土器の修復、収納材の点検交換を行う。

### 5 普及啓発

現地説明会、遺跡発掘調査報告会の開催や、学校等が行う体験学習への支援など普及事業を行うとともに、発掘調査報告書や広報紙等の刊行により、調査成果を県民に還元する。

#### (1) 普及啓発

##### ア 埋蔵文化財センター内の展示

常設展示のほか、平成25・26年度発掘調査資料を公開展示する、新資料展〔平成28年2月～平成28年7月10日、平成29年1月30日～平成29年7月〕を開催する。

##### イ 埋蔵文化財センター利用者の見学案内

来館者の希望に応じて埋蔵文化財センターの展示品等の説明案内を行う。

##### ウ 現地説明会の開催

発掘調査現場において、調査中の遺構・遺物を公開し調査成果を速報する。

##### エ 教育庁文化行政課と共催事業

###### 【企画展】

- ・会場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期間：平成28年7月16日（土）～平成29年1月22日（日）
- ・タイトル：「新潟県埋蔵文化財センター開館20周年記念企画展」
- ・内容：県教委・事業団が発掘調査した遺跡の出土品のなかで、県考古資料に指定された5遺跡の遺物を展示・解説する。開催期間中5回の講演会と物づくり体験会を実施する。

###### 【親子考古学教室】

- ・会場：埋蔵文化財センター
- ・日時：平成28年8月15日（月）、8月20日（土）、8月21日（日）
- ・内容：センターの仕事紹介、展示品説明、火起こし、勾玉作り、土器作り等

###### 【まいぶん祭り】

- ・会場：埋蔵文化財センター
- ・日時：平成28年10月2日（日）9：00～16：00
- ・内容：火起こし、勾玉作り、バックヤードツアー等

###### 【第21回 遺跡発掘調査報告会】

- ・会場：新潟市中央区ユニゾンプラザ
- ・日時：平成28年10月2日（日）  
出土品展：9：00～16：00 報告会：10：30～15：00
- ・内容：平成27年度発掘調査の報告及び出土品展示  
新潟県埋蔵文化財センター開館20周年記念講演（演題未定）  
講師：小林達雄 國學院大學名誉教授

【遺跡発掘地での展示会】

- ・内 容：埋蔵文化財センターに保管する県教育委員会所蔵の出土品を、出土地の教育委員会と協力し展示・公開する。

【体験学習・出前授業】

学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を利用し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学など校外学習に対する支援や希望する学校に指導者を派遣し、出前授業を行う。

【職場体験・インターンシップ等の受け入れ】

中学生や高校生に埋蔵文化財に関連する職種や内容を解説、体験してもらい、将来の進学や就業選択の一助となるよう支援する。

オ その他施設等との協力事業

「発掘された日本列島2016」展への協力

文化庁主催事業に協力し当事業団から、糸魚川市「六反田南遺跡」出土の縄文土器・石器・石製品、約100点を出品し、全国5会場で巡回展示する。

- ・開催県：東京都、滋賀県、秋田県、高知県、福岡県
- ・期 日：平成28年6月4日（土）～平成29年2月19日（日）

「にいつ花ふるフェスタ」への参加

新津観光協会が県立植物園と共催する「にいつ花ふるフェスタ」に参加し、火起こし、勾玉作り、展示解説などを実施する。

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・期 日：平成28年6月5日（日）9：00～16：00

「フラワースタンプラリー」への参加

公益財団法人新潟県都市緑化センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者に抽選で景品を贈呈する。

- ・期 間：未定

「にいつ食の陣2016」への参加

新津商工会議所などが主催する「にいつ食の陣2016」に、秋葉区内の観光施設として参加し、スタンプラリー利用者に来場特典を贈呈する。

- ・期 間：5月中（予定）

(2) 広報紙・調査研究誌等の発行

ア 広報紙「埋文にいがた」の発行

- ・刊 行：年4回（No.95～98） 各2,200部
- ・配付先：小・中・高校、市町村教育委員会、図書館、博物館  
都道府県教育委員会、その他関係機関

イ 「年報」の発行

- ・刊 行：年1回 500部
- ・配付先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会  
その他関係機関

ウ 「発掘調査報告書」の発行

- ・刊 行：随時 各300部
- ・配付先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会  
その他関係機関

エ ホームページによる情報の提供

- ・事業団の催し物や事業内容、日々変化する発掘現場の様子、「埋文にいがた」などの情報を掲示する。

オ メールマガジンの配信

- ・メールマガジンをとおして、事業団の催し物などを積極的に配信する。

## 6 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し、情報の共有化を図るとともに発掘調査業務に対して迅速に対応するため各種研修に参加・実施する。また、要請に応じて市町村発掘調査技術指導などを行う。

### (1) 市町村発掘調査技術指導

要請に応じて随時実施する。

### (2) 職員研修

- ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修
- イ 関ブロ共同研修
- ウ（独）奈良文化財研究所主催研修等
- エ 県教委主催専門職員研修
- オ 文化庁埋文担当職員等講習会

### (3) 安全衛生研修等

- ア 安全衛生講習（6月）
- イ 火災訓練（9月）

## 7 埋蔵文化財センターの管理運営

指定管理者として、埋蔵文化財センターが快適な環境のもとで利用が行われるよう、センターの運営及び施設・設備機器の保守管理を行う。

なお、新潟県との埋蔵文化財センターの管理運営に関する協定期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間となっている。

## 8 全国埋蔵文化財法人連絡協議会

- (1) 総会：鹿児島県（6月予定）
- (2) 役員会：千葉県（5月予定）、東京都（12月予定）
- (3) 研修：山形県（10月予定）
- (4) 中部・北陸ブロック連絡会議：愛知県（10月予定）

### Ⅲ 事業推進体制

#### 1 評議員会

評議員（4）

6月 定例評議員会 事業報告、決算計算書類の承認

#### 2 理事会

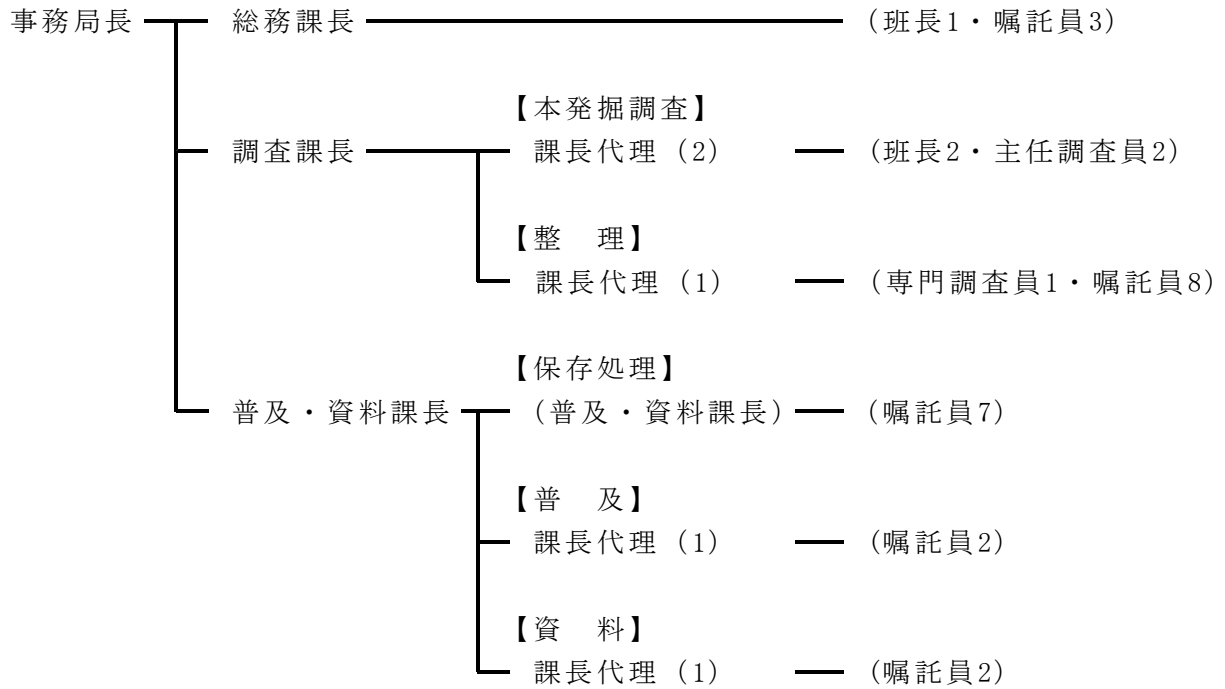
理事長（1） ———— 専務理事（1） ———— 理事（2）  
監事（2）

4月 臨時理事会 理事長の選定

5月 第1回定例理事会 決算の承認等

3月 第2回定例理事会 事業計画、収支予算の承認等

#### 3 事務局



職員数 37人（正職員1人、派遣職員14人、嘱託員22人）

## 平成28年度 調査計画

## [本発掘調査]

事業者	事業名		遺跡名	所在	調査対象 (m <sup>2</sup> )	現地期間	27年度当初 (m <sup>2</sup> )
国土交通省	新潟国道	49号阿賀野BP	柄目木遺跡VI	阿賀野市	975	4～6月	
		日本海沿岸東北自動車道	上野遺跡	村上市			
	長岡国道	8号柏崎BP	宝田遺跡Ⅲ	柏崎市	9,000	4～9月	
			丘江遺跡Ⅲ	柏崎市	2,400	4～7月	
	計					12,375	

3遺跡

10遺跡

## 平成28年度 整理・報告計画

事業者	事業名	遺跡名	現地調査	28年度作業		
				整理	刊行	
国土交通省	新潟国道	49号阿賀野BP	柄目木遺跡Ⅲ	H26～28	○	○
	高田河川	253号上越三和道路	二反割遺跡Ⅱ 堂古遺跡 下割遺跡Ⅵ	H27	○	○
		8号糸魚川東BP	六反田南遺跡Ⅵ	H22～25	○	

5遺跡

※ その他、28年度現地調査の整理を行う。

## 平成28年度 保存処理計画

## 1 重点項目

- ① 大型木製品の保存処理  
② 保存処理済の大型・小型木製品の整理・収納

## 2 保存処理対象遺物

\* 箱:34×54×10cm / カゴ:90×150×60cm

遺物種類	分類	作業内容	対象遺物	数量
木製品	小型木製品	記録作成	平成27年度までに報告書が刊行した木製品 (262集境塚、264集宝田Ⅱ、267集中湯館+α)	16箱+α
		トレハロース含浸	228集山岸・田伏山崎、251集 清水田、253集余川中道Ⅱ、254集箕輪Ⅱ 257集横マクリⅡ、258集山口野中Ⅱ、133集 青田(柱根ディスク試料)	134箱
			平成27年度までに報告書が刊行した木製品	16箱+α
		企画展・遺跡発掘調査報告会出展木製品	未確定	
	大型木製品	記録作成・ トレハロース含浸	134集下割Ⅱ、135集反貫目、138集五反田、140集東原町、142集道端Ⅲ 143集六斗蒔	4カゴ
		表面処理・修復	133集青田	4カゴ
金属製品	鉄製品	記録作成～修復	116集 奈良崎	23点
	青銅製品	記録作成～修復	116集 奈良崎	221点

## 3 作業内容とスケジュール

作業内容		年月											
		H28											H29
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
木製品 保存処理	～H27年度報告書刊行分台帳作成・洗浄・収納	■											
	小型槽含浸	報告会・企画展出展品 228集山岸～258集山口野中Ⅱ	■										
		133集青田(柱根ディスク試料)ほか	■										
		H27年度までの報告書刊行遺跡	■										
	大型槽(古)含浸	134集下割Ⅱ、135集反貫目 138集五反田、140集東原町	■								■		
大型槽(新)含浸	142集道端Ⅲ、143集六斗蒔	■								■			■
表面処理	H27年度処理分	■											
金属製品保存処理	H27年度報告書刊行分台帳作成・洗浄・収納	■											
	鉄製品・青銅製品の保存処理	■											
取蔵庫3・保管棟・ビニールハウスの点検(水換えなど)		■											
発掘・整理現場の脆弱遺物対応(取り上げなど)		■											